

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
TEL 06-6765-8904
FAX 06-6765-8905

**大障教は大阪の障害児教育をより発展させていくため
みなさんの加入を心よりお待ちしております**

あなたも大障教へ



いい教育がしたい！安心してはたらきつづけたい！



4月3日任命式会場前宣伝を行い、初任の方を出迎えました。

教職員組合は、職場の仲間がさまざまな願いを持ち寄つ

大変な時こそ組合の出番！

新年度がスタートして約2週間がたちました。新規採用者のみなさんにとっては毎日不安と緊張の連続で、疲れも出ているところではないでしょうか。ベテラン・中堅の先生方も、コロナ対策を講じながら新たに担任した子どもたちと教育活動をすすめる日々や年度初めに集中するさまざまな仕事に追われ、忙しくお過ごしのことと思います。

大障教(大阪府立障害児学校教職員組合)は、府立支援学校の教育条件整備と教職員の労働条件の改善、障害者福祉の充実などを大きな柱として、2023年度も運動をすすめていきます。新年度にあたり、大障教のとりくみへの協力をお願いいたします。また、この機会にひとりでも多くの教職員のみなさんが組合員として、私たちの運動に参加していただくことを、心から呼びかけます。

てつながり合い、みんなで語り合い学び合う活動をする組織です。教育条件の前進や労働条件の改善に向けて、教育予算の増額や支援学校建設などを求める活動に、父母や府民、全国の仲間のみなさんと力を合わせてとりくんでいきます。

昨年度は、「支援学校小・中学部に産育休代替の前倒し任用(事前任用)実現」「育休取得が原則2回」「インフ

新転任歓迎行事にぜひご参加ください

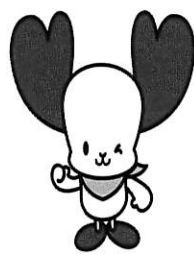
4月29日(土)、「障害児教育って楽しいわかわらない! わかりたい! 子ども



もの気持ち」と題して、三木裕和さん(立命館大学教授)に講演していただきます。長年、障害児学校の教員として携わってこられた経験をもとに、子どもたちのエピソードを交えながら、障害児教育の魅力や大切にしたいことについてお話していただきます。

お得な全教共済(大教済)にもご加入を

教職員組合の活動と合わせて、教職員がお金を出し合い、仲間同士で助け合う「共済」の仕組みを自主的につくり、その運用もおこなっています。



「総合共済」がおすすめです

大障教が扱う「全教共済(大教済)」は、組合員でない方も気軽に加入できます。特に、月々600円の掛金で、結婚・出産時に給付が受

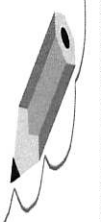
けられ、退職時には掛金が全額戻ってくる「総合共済」は、府立支援学校の約6割の先生方が加入しており、新規採用者のみなさんにもおすすめです。

まずは、新歓教研や職場のとりくみなどに参加して、組合のことを知ってください。その上で多くの教職員のみなさんに、大障教に加入していただけることを願っております。

大障教ホームページアドレス <http://fc06631220171211.web2.blks.jp/> Eメールアドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp

書記局の

ふしじゅ



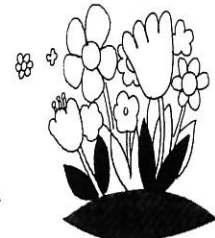
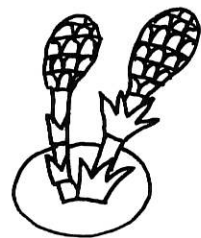
先週の金曜日は生憎の雨の中でしたが、多くの府立支援学校で入学式がありました。真新しい服に身を包み、少し緊張した面持ちの新入生たちに、「おめでとうございませう!」と声をかけました。反応はさまざまながらも、緊張した表情を和らげ照れて恥ずかしそうな「微笑み」をたくさん見ることができました。

昨日には始業式を迎え、新しいクラスの友だちや担任の先生と、一ツ歳を重ね大きくなった自分を嬉しそうに確認する姿も印象的でした。

本年3月17日、「新学期以降の学校におけるマスク着用の考え方について」(通知)は、4月1日以降の新学期について「児童生徒及び教職員については、学校教育活動に当たっては、マスクの着用を求めないことを基本とする」と変更されました。

一方で、混雑した電車やバスを利用する場合や医療機関や高齢者施設などを訪問する場合など、マスクの着用が推奨される場面においては、着用が推奨されること。また、基本的な感染対策は重要であり、引き続き「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」「手洗い等の手指衛生」「換気」等の励行の継続、給食時に「黙食」は必要ないまでも、会食に当たって、飛沫を飛ばさないよう注意すること、換気、大声での会話を控える、机の向きなどの対策の継続は求められています。

新型コロナウイルス・パンデミックから3年あまりが過ぎ、元通りとはいかないまでも、ようやくコロナ禍以前の教育活動が少しずつ再開可能になりそうな兆しを感じられる年度始めです。



集まれば元気！ 分会のとりくみ



摂津支援分会では、3月24日の昼休憩に、分会員で集まりお弁当を食べました。一年を振り返って、一人一言ずつ話をしていきました。日々の忙しさの中で、職員同士なかなかゆっくりと話す機会が無いのが現状ですが、こんな風に集まって話すのって大事だなと感じました。

後半の時間は、分会長が定年退職されるので、長年にわたるご尽力に感謝し、ささやかな送別会を行いました。分会長の思いを引き継ぎ、これからも誰もが心身ともに健康に働き続けられる職場づくりを大事にしていく摂津支援分会でありたいです。

(摂津支援分会 岸田 康恵)

枚方支援分会では、3月23日に分会集会を行い、みんなで一年を振り返ってひと言ずつ交流しました。退職の先生方には記念品をお渡しして、ごあいさついただきました。また、4月6日にも集まって新年度の顔合わせをしました。



分会集会では、いつも学部や職種を越えてお互いの現状を知ることができます。今回も「分会に入って、色々な先生の話を聞くことができよかった」「出産、育児をする身になってさまざまな権利のありがたさを感じる。組合のおかげ。」といった声が寄せられました。今年度もまた、新しい仲間を分会に迎えられればと思います。

(枚方支援分会 林 陽子)

四條畷校分会では、3月27日に退職を祝う会と合わせて分会集会を行いました。みんなで集まってお弁当をいただき、定年を迎えられた先生方へ感謝の言葉を伝え、花束と寄せ書きの色紙をプレゼントしました。退職される先生方からは、仕事が大変だった中でも、組合の仲間に支えられ楽しい思い出がたくさんある、とご挨拶をいただきました。参加者からの一人一言では、この一年間忙しかつたけれどみなさんと助け合いながら乗り越えて生徒の成長を見守ることができたといった内容が多くありました。若い先生からも、がんばり過ぎずに元気に働き続けたいと発言がありました。

四條畷校の本校化に「光が見えてきた」という報告と支援学校をたくさん作る府政を求める呼びかけもあり、期待が膨らむ分会集会となりました。



(四條畷校分会 荒木 佳子)

寝屋川支援学校には、今年度もたくさんの新転任者がいらっしゃいました。分会では、大障教の資料に分会独自の手紙をつけてお迎えしました。

新年度の準備で忙しい中でも、一息ついていただければと、ジュースをお付けして一人ひとりに手渡ししました。

4月の業務に誰もが忙しくする時期ですが、少しでも分会の存在を知っていただければと思います、この時期に顔合わせできる時間を大切にしています。

(寝屋川支援分会 樋口 真弓)

みんなで学んでいきいき働き続けられる職場環境を

女性部学習会

3月11日女性部で学習会「健やかな人生のために〜女性特有の健康課題〜」(講師 徳永京子先生 (保健師 合同会社チームヒューマン))を実施し、19名の参加がありました。

女性のからだは一生にわたって、女性ホルモンの影響を受けています。10代で初潮を迎え、20〜30代の成熟期には排卵や月経を繰り返し、50歳前後に閉経しますが、それぞれの時期に女性特有の健康リスクがあります。

成熟期にはPMS(月経前症候群)や月経随伴症状に苦しむ人が74%もいます。基礎体温を測ると合わせてPMSの記録をつけましょう。どの時期にどんな症状が出てくるかを事前に把握すると、一番しんどいときにしんどい仕事が重ならないように自分のできる範囲で調整できます。月経困難症には治療が必要な場合もありますので、20代で生理痛がひどい場合は女性外来(婦人科)を受診するようにしましょう。生理での出血量は毎月コーヒークップ一杯程度もあり、鉄分が不足して鉄欠乏性貧血になることがあります。食事から鉄を摂るのにおすす

めなのが「鉄たまご」です。炊飯や調理の鍋に入れるだけなので、手軽に続けることができます。生理痛には、腰を温める、ストレッチ、アロマ、音楽でリラクゼーションなどの対策が有効です。

更年期は閉経を迎える50歳前後の約10年間。個人差はありますが、ほてりや頭痛、腰痛、イライラや不眠などの症状を訴える人がいます。また女性は男性に比べて、心を安定させるホルモンであるセロトニンの生成能力が半分しかなく、うつ病発症率が男性の2倍です。女性ホルモンが生成されなくなるので、材料である脂肪が余り、からだに蓄積します。これから更年期を迎える人は同じ食生活をしていても太ったり脂質を代謝異常になったりすることがあるので気を付けましょう。また生活習慣病が一気に進み、子宮がんや乳がんなどを発症する方もいます。女性ホルモンと似た成分を含む大豆食品を摂ることが

参加者からは、学んだことを、女性部だけでなく一緒にいたら職場のみならず共有したいという感想がたくさんありました。講師の徳永先生のご厚意で、学習会の内容をHPから自由に見ることができるようになりました。各分会で管理職の先生も含めて学習し、笑顔でいきいきと働き続けることのできる職場環境を作っていきましょう。

徳永京子先生ホームページ

<https://jyousei-kenko>

jindofree.com/